

ZOOM▶

写真劇場

## 葉山の蓮女さま

エッセー 須磨久善 写真 大出一博

▶ 今年の夏は去年よりひどいな…と毎年思っている。

酷暑、猛暑、その次の言葉はどうなるのだろうか？

暑さだけではない。洪水、竜巻、そして雷が降る。

5年後の東京オリンピックのマラソンの日はどうなっているのだろうか…と考える前に、来年のことが気にかかる。

そんな憂鬱な気持ちをいとも簡単にこの写真が吹き飛ばしてくれた。

蓮は仏の慈悲を現し、極楽浄土に咲く花である。

悟りの象徴ともいえる白く清らかなこの花を眺めていると、暑いなどとは微塵も感じなくなる。

ましてや、傍らで蓮に語りかけている涼しげな着物姿の美女を見つめると、心の中に清く気高い涼風が漂ってくる。

だといいんだがなぁ…と汗を拭きながら蓮の花を眺めてふと思った。

このシリーズの写真を撮り続けておられる大出一博氏が主宰する葉山文化園には見事な花を咲かせる巨大な蓮の鉢が数十個並んでいて、毎夏、催される「蓮を愛でる会」は大出氏を囲むサロンの場となる。

私も声をかけていただいて伺った時に尋ねようと思ってまだそのままになっていることがある。蓮の花が開く時、音を発するのですか？

花はゆっくりと開くので音などしない。いや私はホーンというのを確かに聴いた。それは池の中で魚がはねた音です…などなど諸説あり。

葉山文化園の蓮の鉢には魚もいないことだし、明け方から陣取って何十もの花が次々とつぼみを開く様を静寂の中でじっくりと眺めるというのはいかがでしょうか。

もちろん、傍らにこんな着物姿の蓮女さまが居てくだされば極楽そのもの。

